

# 大磯町事業仕分けの結果

|      | 担当課        | 企画室 | 担当班             | 企画政策班 |
|------|------------|-----|-----------------|-------|
| 班一番号 | 予算事業名      |     | 詳細事業名           |       |
| 1-1  | 生活交通確保対策事業 |     | 生活交通確保対策事業補助金交付 |       |

| 評価結果             |              | コメント(仕分けの理由・今後に向けての提案等)   |
|------------------|--------------|---|
| 1 不要             |              |   |
| 2 民間             | 1            | ・H18.10運送法改正にあわせたNPOの運用を検討してほしい。(地域交通推進検討会議で議題にしてほしい)   |
| 3 大磯町<br>(要改善)   | 4            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用実態の詳細な分析が必要。まず、通学と生活利用を分ける。生活利用は、バウチャー、利用を想定すること。ニーズ把握がリアルにできる。</li> <li>・アンケート無意味、住民に財政面の十分な説明がされていないままに、要望どおり実施すべきでない。</li> <li>・現状分析をもっと十分に。赤字になれる時間のみ現行。赤字時間帯は、別の方法の検討。</li> <li>・今後の町全体の交通確保をどうするのか。町民とともに検討し、他自治体例も考える。</li> <li>・「生活交通」の中身の必要性から、優先順位をつけていくと、事業目的は「生活交通の確保」ではなくなるはず。ここを整理しないと、ベストな運行方法、事業実施方法が見えてこない。</li> <li>・総合的な生活交通確保を検討する必要がある。効率性の確保。</li> <li>・受益者負担の観点からも検討(利用者負担)が必要。</li> </ul> |
| 4 大磯町<br>(現行どおり) |              |   |
| 最終判定             | 大磯町<br>(要改善) | 改善策として朝、昼、夕の利用の実態の把握<br>自治体のバスの活用   |